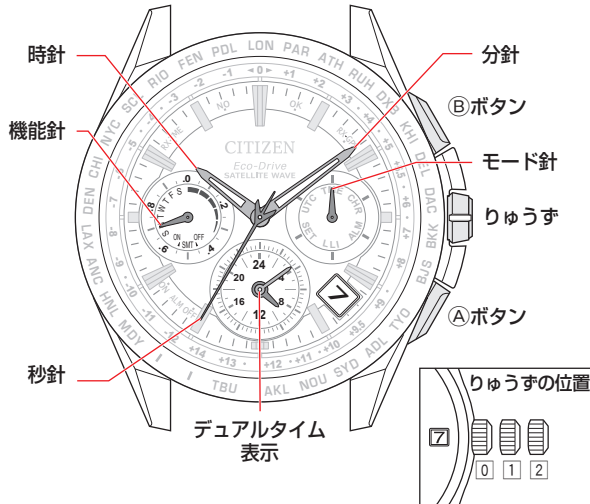


## F900 簡易操作ガイド

- この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- 充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、Web マニュアルをご参照下さい。 <https://citizen.jp/support/guide/html/f900/f900.html>

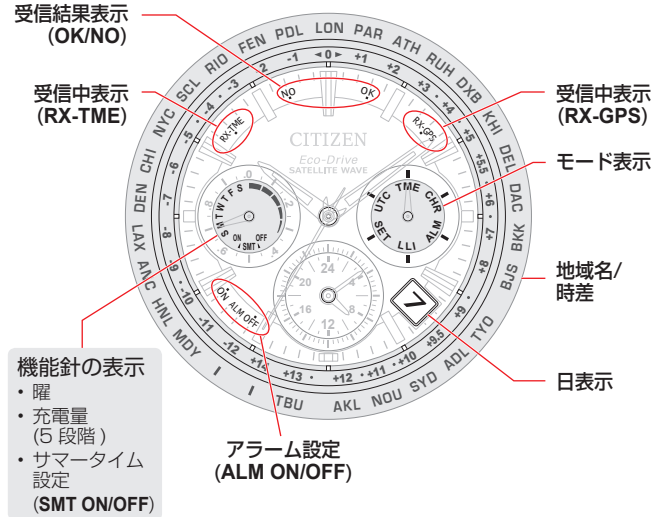
### 各部の名称

#### 針とボタン



- モデルによってデザインは異なります。
- りゅうずは2段階に引き出せます。

#### 表示



### モードを切り替える

1. りゅうずの位置を **1** にする  
秒針が 30 秒を指して停止します。
2. りゅうずを回して、モードを切り替える  
・ モード針がモード表示の目盛を確実に指すように、りゅうずを回します。

モード	表示内容
TME	ホームタイム (時針 / 分針 / 秒針 / 日表示 / 曜表示) とローカルタイム (デュアルタイム表示) を表示します。
LLI	発電量を確認するモードです。詳しくは、「発電量を確認する (ライトレベル インディケーター)」をご覧ください。
UTC	デュアルタイム表示に、常に UTC (協定世界時) を表示させるモードです。
CHR	クロノグラフを使うモードです。詳しくは、「クロノグラフを使う」をご覧ください。
ALM	アラームを使うモードです。詳しくは、「アラームを使う」をご覧ください。
SET	手動で、時刻 / カレンダーなどを合わせるモードです。詳しくは、「時刻・カレンダーを手動で合わせる」をご覧ください。

3. りゅうずの位置を **0** にして、終了する

### 充電量を確認する

1. モードを [TME] または [UTC] にして、りゅうずの位置を **0** にする
2. ② ボタンを押す  
機能針が充電量をレベル表示し、秒針が現在のホームタイムの時差の設定を指します。  
・ モード [LLI] では、充電量レベルが常に表示されます。

レベル	4	3	2	1	0
充電量表示					
およその持続時間	1.5年～1年	1年～10カ月	10カ月～4カ月	4カ月～5日	5日以下
表示の意味	十分に充電されている	安心して使える	そろそろなくなる	ほとんどない	すぐに充電してください。

3. ② ボタンを押して、終了する  
秒針が、秒表示に戻ります。  
・ ボタンを押さなくても、10 秒間経過すると自動で戻ります。

### 発電量を確認する (ライトレベル インディケーター)

1. モードを [LLI] にして、りゅうずの位置を 0 にする  
機能針が、充電量をレベル表示します。

2. ③ ボタンを押す  
秒針が、発電量をレベル表示します。  
・発電量は 1 秒間隔で測定され、レベル表示されます。

レベル	6	5	4	3	2	1	0
表示							
意味	発電量は、充電に適しています。		発電量レベルが「5」または「6」になるような、より明るい場所で充電してください。				

3. ③ ボタンを押して、終了する  
秒針が、秒表示に戻ります。  
・ボタンを押さなくても、30 秒間経過すると自動で戻ります。

### 衛星電波の受信結果を確認する

1. モードを [TME] または [UTC] にして、りゅうずの位置を 0 にする

2. ① ボタンを押す  
秒針が、前回の受信結果を指します。

OK	受信に成功しました。
NO	受信に失敗しました。

・受信結果では、位置情報の取得 / 時刻情報の取得の区別をしません。

### 衛星電波を受信する

・受信を中断したいときは、秒針が秒表示に戻るまで、いずれかのボタンを押し続けます。

#### 位置情報を取得する

取得した位置情報から、自動でワールドタイムを設定し、ホームタイムの時刻 / カレンダー合わせを行います。

・位置情報の取得には、30 秒 ~ 2 分かかります。

・各地域のタイムゾーンについては、2015 年 1 月時点でのデータに基づいております。

1. モードを [TME] または [UTC] にして、りゅうずの位置を 0 にする

2. ③ ボタンを 2 秒間押し続ける  
・受信が終わると、秒針がワールドタイムの設定を指し、秒表示に戻ります。

#### 時刻受信

・時刻受信には、3 ~ 30 秒かかります。

1. モードを [TME] または [UTC] にして、りゅうずの位置を 0 にする

2. ① ボタンを 2 秒間押し続ける  
・受信が終わると、秒針が受信結果を指し、秒表示に戻ります。

#### うるう秒受信

・うるう秒受信には、36 秒 ~ 13 分かかります。

1. モードを [TME] または [UTC] にして、りゅうずの位置を 0 にする

2. ① ボタンを 7 秒間押し続ける  
秒針が一度 [RX-TME] を指してから、一回転し再び [RX-TME] を指したら、ボタンを離します。  
受信が始まります。  
・受信が終わると、秒針が受信結果を指し、秒表示に戻ります。

### 手動でワールドタイムを設定する

この時計は、UTC(協定世界時)基準の 40 の時差を設定することで、世界の各地域の時刻を表示させることができます。

1. モードを [TME] または [LLI] にして、りゅうずの位置を 2 にする

秒針がホームタイムの現在の時差の設定を指します。  
・モードが [UTC] のときは、ホームタイムの時差の設定のみ変更できます。

2. ③ ボタンを押す  
秒針がローカルタイムの現在の時差の設定を指します。  
・③ ボタンを押すごとに、それぞれの分針が少し動き、ホームタイム / ローカルタイムの設定変更に切り替わります。

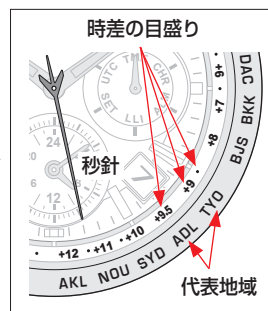
3. りゅうずを回して、時差を設定する  
時刻表示が切り替わります。

4. りゅうずの位置を 0 にして、終了する  
秒針が、秒表示に戻ります。

#### 時差の設定の見かた

時計上には、時差の目盛りが 40 あり、その一部に代表地域が表記されています。時差の設定は、秒針をこれらに合わせることで行います。

右の図では、秒針が 28 秒を指している、時差の設定は「+11.5」になっています。  
・時差は、UTC 基準です。



#### 時差と代表地域について

時差	秒針	表記	代表地域
0	0 秒	LON	ロンドン
+1	2 秒	PAR	パリ
+2	4 秒	ATH	アテネ
+3	6 秒	RUH	リヤド
+3.5	7 秒	—	テヘラン
+4	8 秒	DXB	ドバイ
+4.5	9 秒	—	カブール
+5	10 秒	KHI	カラチ
+5.5	12 秒	DEL	デリー
+5.75	13 秒	—	カトマンズ
+6	14 秒	DAC	ダッカ
+6.5	15 秒	—	ヤンゴン
+7	16 秒	BKK	バンコク
+8	18 秒	BJS (HKG)	北京 / 香港
+8.75	20 秒	—	ユークラ
+9	21 秒	TYO	東京
+9.5	23 秒	ADL	アデレード
+10	25 秒	SYD	シドニー
+10.5	26 秒	—	ロード・ハウ島
+11	27 秒	NOU	ヌーメア
+11.5	28 秒	—	ノーフォーク島
+12	29 秒	AKL	オークランド
+12.75	31 秒	—	チャタム諸島
+13	32 秒	TBU	ヌクアロファ
+14	34 秒	—	クリスマス島
-12	36 秒	—	ペーカー島
-11	38 秒	MDY	ミッドウェイ諸島
-10	40 秒	HNL	ホノルル
-9.5	41 秒	—	マルケサス諸島
-9	42 秒	ANC	アンカレジ
-8	44 秒	LAX	ロサンゼルス
-7	46 秒	DEN	デンバー
-6	48 秒	CHI	シカゴ
-5	50 秒	NYC	ニューヨーク
-4.5	51 秒	—	カラカス
-4	52 秒	SCL	サンティアゴ
-3.5	53 秒	—	セント・ジョンズ
-3	54 秒	RIO	リオデジャネイロ
-2	56 秒	FEN	フェルナンド・デ・ノローニャ諸島
-1	58 秒	PDL	アゾレス諸島

### ホームタイム / ローカルタイムを入れ替える

1. モードを [TME] または [LLI] にして、りゅうずの位置を 0 にする

2. ① ボタンと ③ ボタンを同時に押す  
確認音が鳴り、ホームタイム / ローカルタイムの時刻が入替わります。  
・日表示 / 曜表示は、新たにホームタイムとして表示される時刻に基づきます。

## サマータイムを表示させる

- モードを [TME] または [LLI] にして、りゅうずの位置を **2** にする  
機能針が、ホームタイムのサマータイム設定 (SMT ON/OFF) を指します。  
・モードが [UTC] のときは、ホームタイムのサマータイム設定のみ変更できます。
- A** ボタンを押す  

SMT ON	サマータイムが表示されます。
SMT OFF	標準時刻が表示されます。

  - ・A ボタンを押すごとに、SMT ON/OFF が切り替わります。
- B** ボタンを押す  
機能針が、ローカルタイムのサマータイム設定 (SMT ON/OFF) を指します。  
・B ボタンを押すごとに、それぞれの分針が少し動き、ホームタイム / ローカルタイムの設定変更により切り替わります。
- A** ボタンを押して、ローカルタイムのサマータイム設定を切り替える
- りゅうずの位置を **0** にして、終了する  
秒針が、秒表示に戻ります。

## クロノグラフを使う

1/20 秒単位、最大 23 時間 59 分 59.95 秒まで表示することができます。

- モードを [CHR] にして、りゅうずの位置を **0** にする  
0.00 秒が、表示されます。
- 計測する  

スタート/ストップ：B ボタンを押します。  
・1/20 クロノグラフ秒は、ストップ中のみ機能針に表示されます。

リセット：ストップ中に、A ボタンを押します。

### 計測終了後は

リセットを行い、モードを [TME] にします。

## アラームを使う

アラームは、常にホームタイムの表示時刻に基づきます。

- モードを [ALM] にして、りゅうずの位置を **2** にする  
デュアルタイム表示に、現在のアラームの設定時刻が表示され、秒針が、現在のアラーム設定 (ALM ON/OFF) を指します。  
・アラームの設定時刻を見やすくするため、時針と分針が一時的に移動することがあります。
- りゅうずを回して、アラームの時刻を設定する  
・りゅうずを素早く連続回転させると、針が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。
- A** ボタンを押して、アラーム設定 (ALM ON/OFF) を設定する  
・A ボタンを押すごとに、設定が切り替わります。
- モードを [TME] にし、りゅうずの位置を **0** にして、終了する  
秒針が、秒表示に戻ります。

### アラーム音をとめるときは

いずれかのボタンを押します。

## うるう秒の設定を確認・修正する

- ・うるう秒の設定の修正は、うるう秒受信で自動で行うこともできます。

最新のうるう秒情報は、下記の情報通信研究機構・日本標準時グループのサイトでご覧いただけます。

<http://jijy.nict.go.jp/QandA/data/leapsec.html>

- モードを [SET] にして、りゅうずの位置を **2** にする  
秒針が 0 秒を指して、停止します。
- B** ボタンを 2 秒間以上押す  
秒針と分針が「0 分 0 秒」を起点とした経過秒数で、うるう秒の設定を表示します。  

うるう秒の設定が「- 36 秒」のとき	うるう秒の設定が「- 65 秒」のとき
「0 分 36 秒」を指します。	「1 分 5 秒」を指します。
- うるう秒の設定が正しくないときは、りゅうずを回して設定を修正する  
・修正できる範囲は、0 秒から - 90 秒です。
- モードを [TME] にし、りゅうずの位置を **0** にして、終了する  
秒針が、秒表示に戻ります。

## 時刻・カレンダーを手動で合わせる

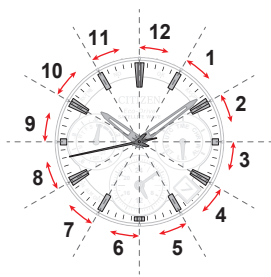
ホームタイムの表示時刻 / カレンダーを手動で合わせます。

- ・あらかじめ、「手動でワールドタイムを設定する」でワールドタイムの設定を行ってください。
- ・ローカルタイムの時刻は、ホームタイムの手動合わせ後に、時差の設定に応じて自動で修正されます。

1. モードを [SET] にして、りゅうずの位置を [2] にする  
秒針が 0 秒を指して、停止します。
2. **A** ボタンを 2 秒間以上押し続ける  
分針が少し動き、時刻 / カレンダー合わせができるようになります。
3. **A** ボタンをくり返し押しして、合わせる針 / 表示を選ぶ
  - ・ **A** ボタンを押すごとに、次の順番で合わせる対象が切り替わります。  
時・分 → 日 → 年 / 月 → 曜 → (始めに戻る)
  - ・ 針 / 表示が少し動いて、合わせる対象になったことをお知らせします。
4. りゅうずを回して、針 / 表示を合わせる
  - ・ 時・分・日表示は連動します。午前 / 午後の違いに注意します。日表示が切り替わったときが午前です。
  - ・ 日表示は、機能針が 5 回転すると切り替わります。
  - ・ りゅうずを素早く連続回転させると、針 / 表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。
  - ・ 年と月は、秒針で表示されます。

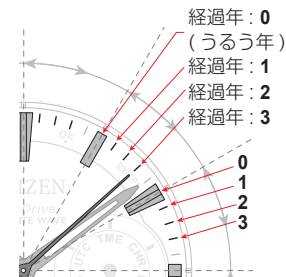
### 月の表示

「月」は、左図の 12 の矢印の範囲で表示されます。各数字が月に対応します。



### 年の表示

「年」は、うるう年からの経過年に対応し、各月の範囲ごとの目盛りの位置で表示されます。

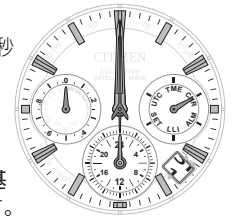


- ・ うるう年からの経過年については、サポートページに詳しい説明があります。

5. 手順 3 と 4 をくり返す
6. 時報に合わせて、りゅうずの位置を [0] にする  
秒針が 0 秒から動き出します。
7. モードを [TME] にして、終了する

## 基準位置を確認する

1. モードを [CHR] にして、りゅうずの位置を [2] にする  
秒針 / デュアルタイム表示 / 機能針が、0 の位置を指して、停止します。
2. **A** ボタンを押し続ける  
各針 / 表示が現在の基準位置に移動し始めます。  
・ 針が動き出したらボタンを離します。
3. 基準位置を確認する  
時針 / 分針 / 秒針の位置 : 0 時 00 分 0 秒  
日表示の位置 : 「31」と「1」の間  
機能針の位置 : 「0」(真上)  
デュアルタイム表示 : 0 時 00 分



基準位置がずれているときは、次の「基準位置を修正する」の手順 3 に進みます。

4. りゅうずの位置を [0] にする
5. モードを [TME] にして、終了する

## 基準位置を修正する

1. モードを [CHR] にして、りゅうずの位置を [2] にする  
秒針 / デュアルタイム表示 / 機能針が、0 の位置を指して、停止します。
2. **A** ボタンを押し続ける  
各針 / 表示が現在の基準位置に移動し始めます。  
・ 針が動き出したらボタンを離します。
3. **A** ボタンを押す  
機能針が少し動き、機能針と日表示の基準位置の修正ができるようになります。
4. **A** ボタンをくり返し押しして、修正する針 / 表示を選ぶ
  - ・ ボタンを押すごとに、次の順番で修正対象が切り替わります。  
機能針 / 日表示 → デュアルタイム表示 → 時針 / 分針 → 秒針 → (始めに戻る)
  - ・ 針が、少し動いて修正対象になったことをお知らせします。
5. りゅうずを回して、針 / 表示を修正する
  - ・ りゅうずを素早く連続回転させると、針 / 表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。
6. 手順 4 と 5 をくり返す
7. りゅうずの位置を [0] にする
8. モードを [TME] にして、終了する

## オールリセットを行う

1. モードを [CHR] にして、りゅうずの位置を [2] にする
2. **A** ボタンと **B** ボタンを同時に 4 秒間以上押しして、離す  
ボタンから手を離すと、アラームが鳴り、各針が現在の基準位置に動きます。

オールリセット後の各設定	
カレンダー	うるう年の 1 月 (5 秒の位置)
ワールドタイム	時差 0(LON)、ロンドン
受信結果	NO
サマータイム	全ての地域で、SMT OFF
アラーム設定	ALM OFF
アラーム時刻	午前 0 時 0 分
うるう秒	オールリセットしても変更されません。
ロールオーバー数	

## オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、基準位置の修正、時刻 / カレンダー合わせ、アラームの設定を行ってください。